

# 令和3年度 地域包括支援センター職員等研修会

## 【開催の目的】

地域包括支援センターの担う役割、その業務、他の専門職種との連携等について理解を深め、地域包括ケア構築に従事する職員としてのスキルアップを図ります。

令和3年度は「コロナ禍におけるフレイル予防・介護予防について」考えていきます。

# 本日の研修内容

## 1. 開会挨拶

島根県地域包括支援センター連絡会 会長

(13:30~13:35)

足立 卓久

## 2. 講義

「コロナ禍におけるフレイル予防・介護予防について」

千葉大学・大学院教授 国立長寿医療研究センター老年学評価研究部長

(一般社団法人 日本老年学的評価研究機構代表理事)

(13:35~14:50)

近藤 克則 先生

## 3. 実践報告

「コロナ禍における高齢者の実態調査とフレイル予防の取り組み」

～ こけないからだ体操再開、通所型Cの効果などをふまえて ～

安来市地域包括支援センター保健師

(14:50~15:20)

廣江 陸 氏

## 4. 実践報告を受けて近藤先生より

(15:20~15:30)

## 5. 閉会挨拶

島根県健康福祉部高齢者福祉課地域包括ケア推進室 室長

吉田 恭子

# 講師紹介

## ▶ 近藤 克則 先生

- ▶ 千葉大学 予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授
- ▶ 国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長（併任）
- ▶ 一般社団法人 日本老年学的評価研究機構 代表理事（併任）

### 【経歴】

1983年千葉大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院リハビリテーション部医員、船橋二和（ふたわ）病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。University of Kent at Canterbury（イギリス）客員研究員（2000-2001）、日本福祉大学教授を経て、2014年から現職 千葉大学予防医学センター 社会予防医学研究部門 教授。2016年から国立長寿医療研究センター 老年学・社会科学研究センター 老年学評価研究部長を併任。2018年一般社団法人 日本老年学的評価研究機構 代表理事（併任）。

### 【受賞歴】

「健康格差縮小を目指した社会疫学研究」で2020年度「日本医師会医学賞」受賞、「健康格差社会－何が心と健康を蝕むのか」（医学書院、2005）で社会政策学会賞（奨励賞）受賞

### 【近著】

「健康格差社会への処方箋」医学書院 2017 「研究の育て方」医学書院 2018 「長生きできる町」角川新書2018



（撮影：三好宣弘）

## 本研修会のポイント

- ・ **フレイル等のリスクが低い**まちの特徴とは？
- ・ 高齢者における**コロナの健康への影響**とは？
- ・ **withコロナ時代**における工夫とは？
- ・ 「**基本チェックリスト**」等による実態把握の事例
- ・ 地域に即した**介護予防事業**の事例